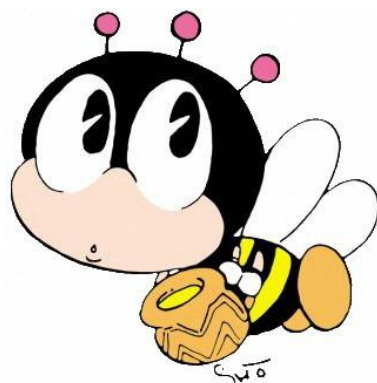


よこて学びプラン

第4次横手市生涯学習推進計画

(令和4～8年度)



生涯学習のマスコット「マナビィ」

令和4年3月

横手市教育委員会

目次

第1章 第4次横手市生涯学習推進計画策定の趣旨

1	計画策定の経緯	1
2	計画の役割と位置付け	1
3	計画策定の目的	2
4	計画策定の背景	3

第2章 学びの現状と課題

1	学びの現状	4
2	学びの機会の現状（意識調査から）	4

第3章 学び推進の方向

1	学び推進の基本的方向	9
2	学び推進の重点	9
3	基本目標と施策の展開	9
4	施策の体系	11

第4章 施策の展開別課題と具体的施策

1	施策の展開1. 生涯学習の振興	12
2	施策の展開2. 社会教育の推進	16
3	施策の展開3. 芸術文化の振興	19
4	施策の展開4. 図書館の充実	22
5	施策の展開5. 社会教育施設等の適正な管理	25

資料

・「生涯学習についての意識調査」結果	28
・主な生涯学習施設等一覧	35
・第4次横手市生涯学習推進計画策定委員名簿	37

「マナビィ」について

文部科学省の依頼により、故・石ノ森幸太郎（漫画家）が無償でデザインした生涯学習のマスコットマークです。生涯学習の「学ぶ」とみつばちの「Bee」を合わせ、「マナビィ」と名づけられました。蜜蜂の触角は2本ですが、「学」という字の頭に角が3本あるように、学ぶことの好きな「マナビィ」には触角が3本あります。そして、老若男女がいつでもどこでも楽しく学び活動するといった生涯学習のイメージを浸透させることに大きな役割を果たしています。



第1章

第4次横手市生涯学習推進計画策定の趣旨

第1章 第4次横手市生涯学習推進計画策定の趣旨

1 計画策定の経緯

本市では「みんなの力で未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」をまちの将来像とし、令和3年3月に「第2次横手市総合計画後期基本計画」を策定しました。その中のまちづくりの基本目標の一つである、「楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり」を実現するため、横手市教育委員会では令和3年3月「第3期横手市教育ビジョン」を策定し、「郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち、横手」を教育目標とし、今後の施策の方向性を提示しています。

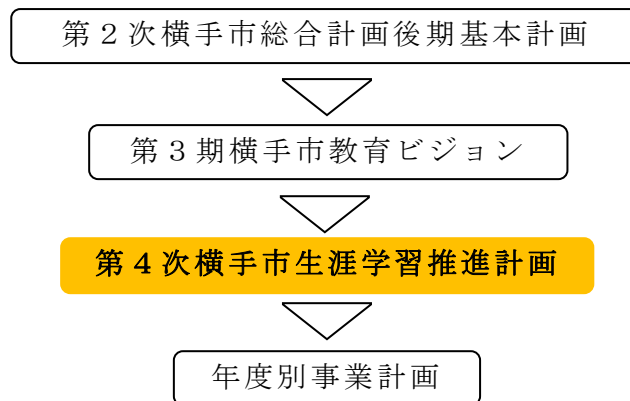
こうした中で、「第3次横手市生涯学習推進計画」が令和3年度末で終期を迎えることから、国や県の計画を勘案し、第3次計画の検証結果を踏まえ、今後の生涯学習の施策を推進するため「第4次横手市生涯学習推進計画」を策定するものです。

横手市生涯学習推進計画の期間

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
計画 期間	第3次生涯学習推進計画					第4次生涯学習推進計画					総 評 価
						見 直 し	1月 第5次計画 策定準備				

2 計画の役割と位置付け

- (1) この計画は、「第2次横手市総合計画（後期基本計画 令和3年度～令和7年度）」及び「第3期横手市教育ビジョン」を上位計画とした、生涯学習の振興のための基本計画です。
- (2) この計画は、生涯学習の推進に関わる施策の体系と方向性を示し、市民の学びを全市的に支援していくため、事業の具現化を図るものです。
- (3) この計画の達成状況は、年度別事業計画に基づき実施される事業を内部評価に加え、外部評価を行いながら毎年度確認します。また、計画の進行管理はPDCAサイクルを活用しながら行い、必要に応じて計画の見直しを行います。



【序論、施策の体系】

<第2次横手市総合計画>

基本構想

まちの将来像 「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」

重点目標 「安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち」

基本目標 「楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり」

政策2 「学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます」

<第3期横手市教育ビジョン>

教育目標 「郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち、横手」

施策4 「心を豊かにする生涯学習の推進」

3 計画策定の目的

多様な生涯学習の機会が提供されることにより、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生をより深く生きることができています。さらに、学びによる「まちづくり・人づくり」や学びの成果を活かす「循環型の学び社会づくり」を引き続き推進していく必要があります。

そこで、この5年間の取り組みとして、学び推進の基本的方向を具体化するため、「生涯学習の振興」、「社会教育の推進」、「芸術文化の振興」、「図書館の充実」、「社会教育施設等の適正な管理」を重点化し、市民一人ひとりが生涯を通して学び続けることができる学習環境と、市民と行政が一体となってふるさと横手に愛着と誇りを持ち、互いに磨き合い、未来を切り拓いていく人づくりのできる環境の実現を目指す「生涯学習推進計画」の見直しを行うものです。

生涯学習とは

「生涯学習」とは、「自己の啓発や充実、生活の向上、職業上の能力の向上などのために、自分の自発的な意思に基づいて、自分に適した手段や方法によって生涯にわたって行う学習活動」と本市では定義しています。このため、生涯学習は「自分を高めるために 生涯にわたって行う楽しい学び」と捉え、すべての市民に学ぶ楽しさを知っていただき、生涯にわたって楽しく学び続けていただくことを、取り組みの最も大きなねらいとしています。

なお、この計画では、第2章から、生涯学習を「学び」という言葉に換えて表記しています。

4 計画策定の背景

平成30年6月、国は「第3期教育振興基本計画」を定め、2030年以降の社会を展望し、「人生100年時代」と「超スマート社会(Society5.0)」の到来といった社会の大転換期を乗り越え、すべての人が豊かな人生を生き抜くために必要な力を付け、活躍できるようにするために教育政策として5つの基本的な方針を掲げ、その一つとして「生涯学び、活躍できる環境を整える」と示しています。

秋田県においては、令和2年3月に「第3期あきたの教育振興に関する基本計画」を定め、目指す教育の姿として、第1期基本計画から一貫して「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり～みんなでつくろう『教育立県あきた』～」を掲げ、これを実現するために「生涯学習を行動に結び付ける環境と芸術・文化に親しむ機会をつくります」を基本方向の一つとしています。

第2章

学びの現状と課題

第2章 学びの現状と課題

1 学びの現状

市内には8地域の生涯学習センターと公民館や図書館、資料館、市民会館など様々な生涯学習に関する施設を設置し、市民の多様な学習活動の支援に努めています。

生涯学習施設の中で、学びの基礎とも言える家庭教育や健康・体力づくりのスポーツ、読書など様々な講座や研修会、自然体験学習、秋田大学との協働による秋田大学横手分校による講座、教室を開催しています。

また、多くの市民の活躍の場の支援として「まなびサポートあきた」に人材を登録し、多様な市民ニーズに対応するためにその人材の活用・提供を行っています。

市民への学習情報の提供については、市報・公民館報・主催講座や教室の情報「まなびのしおり」を発行し、さらに市ホームページなどでも情報を発信しています。

しかし、情報社会の進化に伴い、ますます多様化・高度化してきている市民のライフスタイルに合わせ社会情勢も変化し、地域づくりを目標とした循環型の学びや地域をまき込んだ家庭教育、読書文化の振興も重要視されています。

このことから、今後もさらに多様な生涯学習の機会を提供し、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しみ、より良い読書環境が整えられ、市民自らの考えで行動をすることによって人生をより深く生きることができるよう取り組みが必要です。

2 学びの機会の現状（意識調査から）

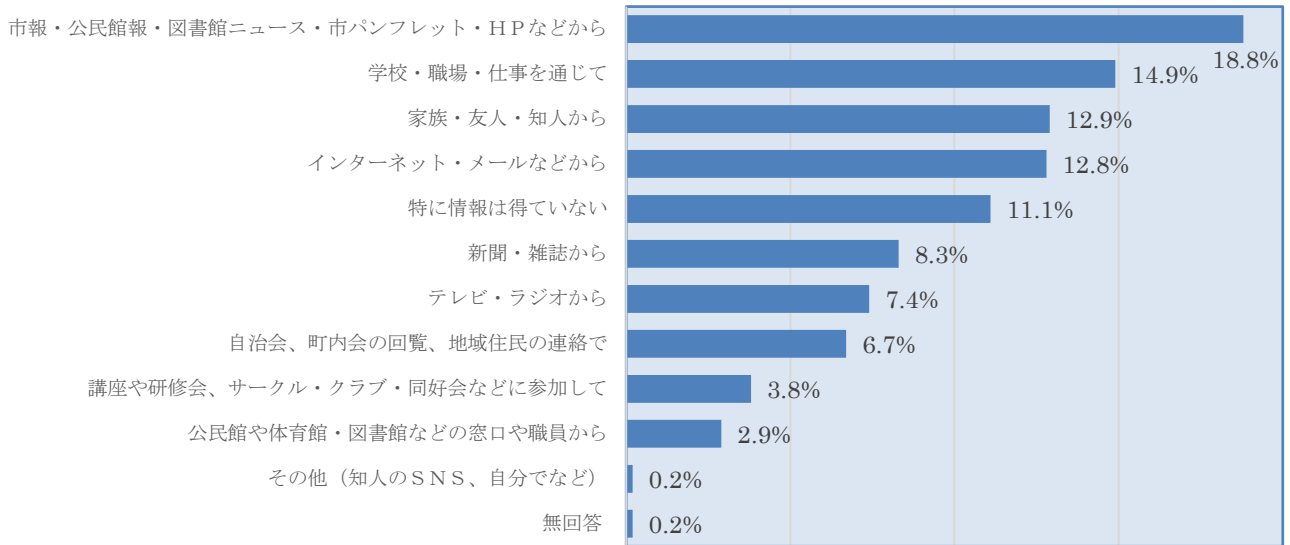
本市では、令和3年11月1日～19日に生涯学習に関する意識調査を実施しました。主な調査結果は以下のとおりです。

（1）生涯学習の情報源

生涯学習情報は、「市報・公民館報・市ホームページなど」から得ているほか「学校・職場」や「家族・友人・知人」が多くを占めています。

今後も市民が活動しやすい情報の提供ができるように整備していきます。

【生涯学習の情報源】

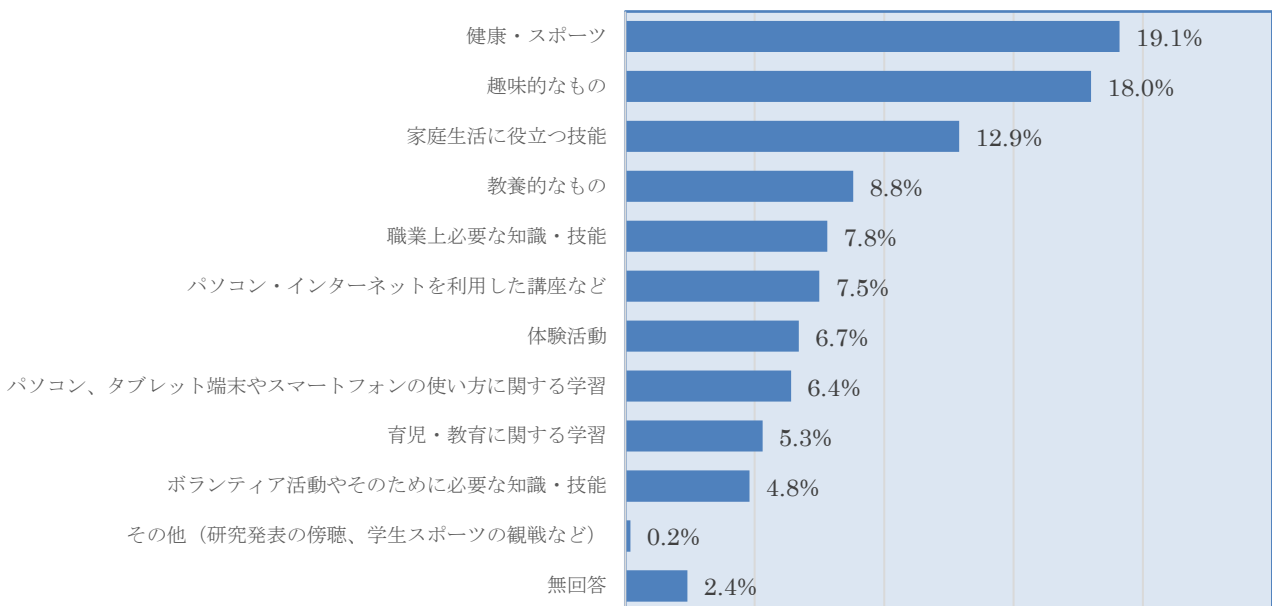


(2) 学びたい学習分野

学びたい学習では、「健康・スポーツ」が最も多く19.1%、次いで「趣味的なもの」が18.0%、「家庭生活に役立つ技能」が12.9%となっています。これらの上位項目は、過去の調査結果と変わらず高い割合を占めています。そのほか「教養的なもの」、「職業上必要な知識・技能」などの要望もあることから、自らの生活のために学ぶ意識が高いことがうかがえます。

このことから、今まで以上に学びに対する市民ニーズが多様化・専門化し、より高度な内容が求められていると言えます。

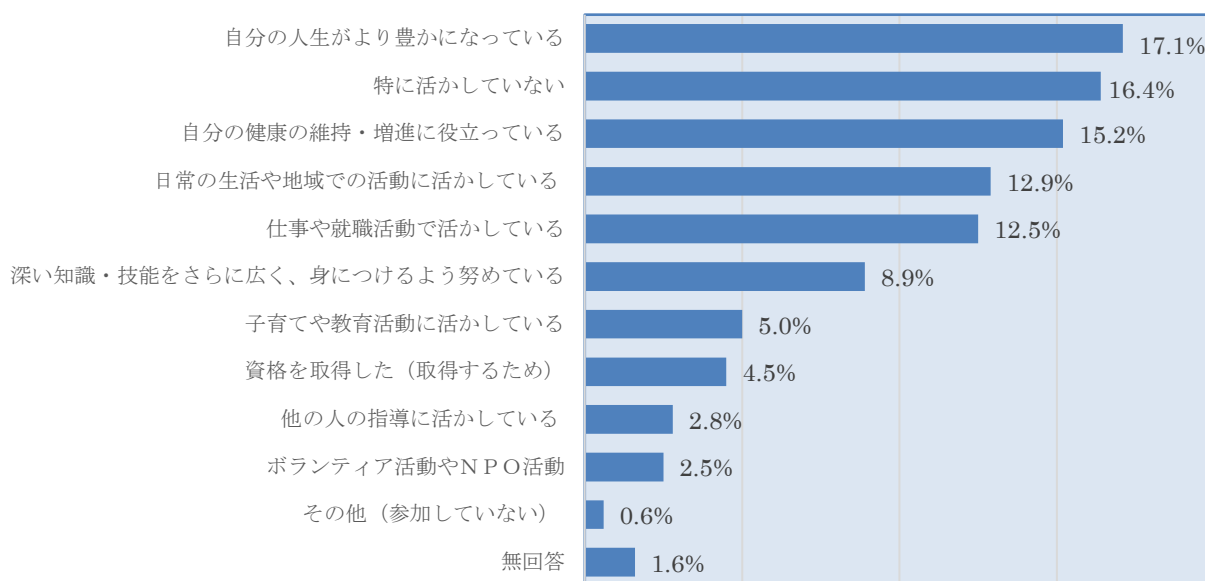
【学びたい学習分野】



(3) 学習経験の活用方法

学習経験の活用については、自分の生活により密接に関わる部分を充実させることで、より豊かな生活のために活かしている状況が見えてきています。「特に活かしていない」という回答は16.4%で、平成28年度調査(23.3%)から6.9ポイント減少していますが、これからも学びの成果を地域へ還元する活動へ活かす環境づくりやそのための支援が必要であると言えます。

【身につけた知識・技能をどのように活かしているのか】

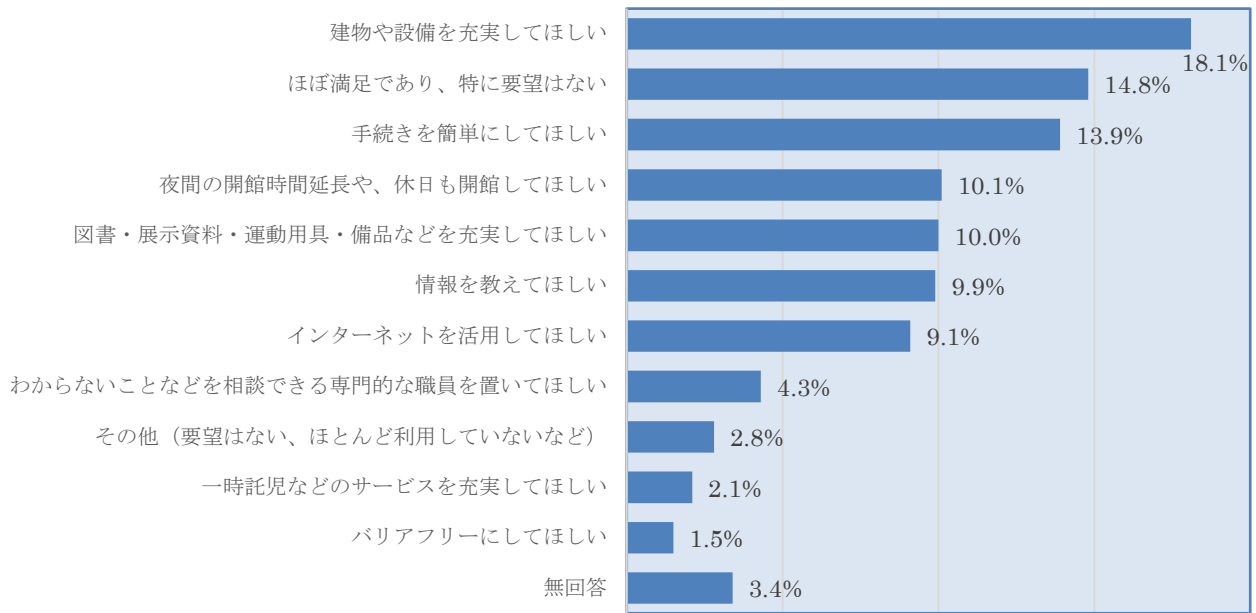


(4) 市の施設に対する希望や要望

市の施設に対する希望や要望では、「建物や設備の充実」が最も多く18.1%で平成28年度調査(12.5%)から5.6ポイント増加しています。前回調査で最も割合が高かった「夜間の開館時間延長や休日の開館」は、10.1%と前回調査(15.2%)より5.1ポイント減少しています。また、「手続きを簡単にしてほしい」が13.9%だったことから、令和3年度リニューアルした「横手市公共施設予約システム」の活用を周知する必要があります。そのほかに「情報を教えてほしい」という要望もあることから生涯学習講座や事業内容と合わせて、施設の情報についても提供の工夫が必要です。

このような状況の中でも、「ほぼ満足であり、特に要望はない」という意見をお持ちの市民(14.8%)もいることから、これまでのサービスを低下させないように努めていかなければなりません。

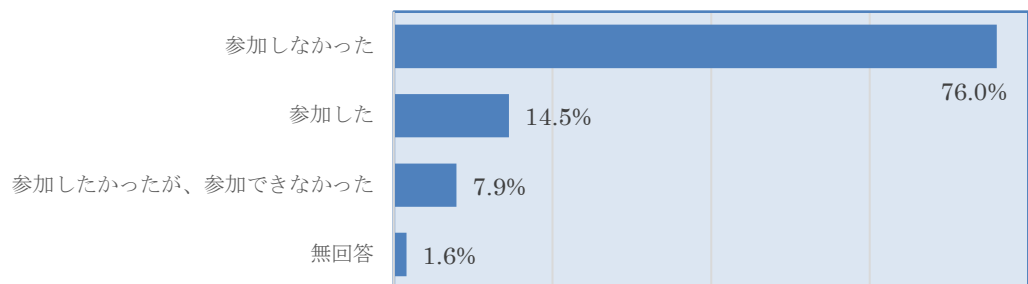
【市の施設に対する希望や要望】



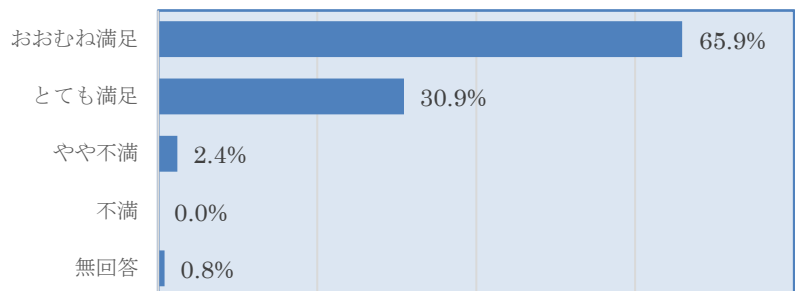
（５）市が主催する講座・教室等への参加状況と満足度

市が主催する講座や教室等への参加状況の問いに対し、「参加した」が14.5%でした。また、参加した方の「満足度」は、ほぼすべての参加者が「満足」、「おおむね満足」との回答でした。今後も参加率を高めるとともに、創意工夫を凝らしながら満足度の向上に努める必要があります。

【市が主催する講座・教室等への参加状況】



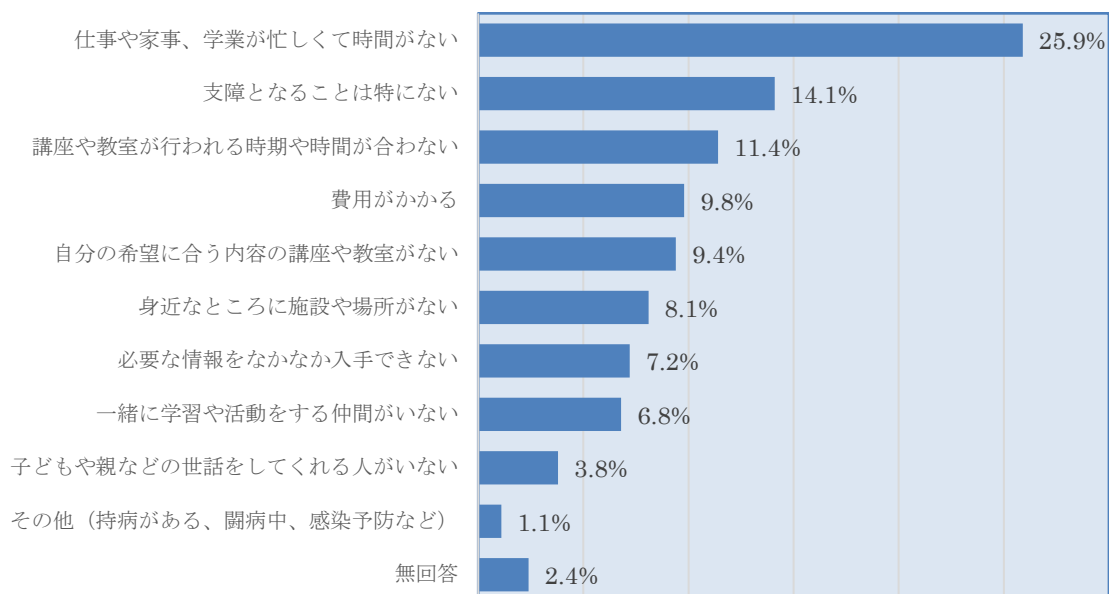
【市が主催する講座・教室等への参加満足度】



(6) 生涯学習を行う際に支障となる理由

生涯学習を行う際に支障となる理由は、「仕事や家事等が忙しくて時間がない」が25.9%と最も多く、「講座や教室が行われる時期や時間が合わない」が11.4%、「費用がかかる」が9.8%、「自分の希望に合う内容の講座や教室がない」が9.4%でした。講座内容や情報発信の工夫がまだまだ必要です。

【生涯学習を行う際に支障となる理由】



第3章

学び推進の方向

第3章 学び推進の方向

1 学び推進の基本的方向

今後5年間の推進すべき基本的方向については、「第3次横手市生涯学習推進計画」で定めた次の4点を引き続き推進していきます。

- ① 「いつでも どこでも だれでも なんでも」の実現を目指します
- ② 学びへの支援を充実します
- ③ 学びによる「まちづくり・人づくり」を進めます
- ④ 学びの成果を活かす「循環型の学び社会づくり」を進めます

2 学び推進の重点

学び推進の基本的方向を具体化するため、「生涯学習の振興」、「社会教育の推進」、「芸術文化の振興」、「図書館の充実」、「社会教育施設等の適正な管理」を重点化し、市民一人ひとりが、生涯を通して学び続けることのできる学習環境と、市民と行政が一体となってふるさと横手に愛着と誇りを持ち、互いに磨き合い、未来を切り拓いていく人づくりのできる環境の実現を目指します。

3 基本目標と施策の展開

基本目標である「楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり」を実現するため、次の5つの施策を具体的に展開します。

施策展開1. 生涯学習の振興

- 主な取り組み
- 1) 市民の学習意欲に幅広く応え、より満足度の高い学習機会の提供に努めるとともに、参加しやすい学習環境を整えます。
 - 2) 学校・家庭・地域の連携により様々な体験活動や交流事業、家庭教育支援などを実施し、地域で子どもを育てる体制づくりに努めます。
 - 3) 学習の成果を地域活動への参画や社会貢献に活かす環境づくりに努めます。

施策展開 2. 社会教育の推進

- 主な取り組み
- 1) 各種社会教育関係団体の活動を支援します。
 - 2) 公民館等施設について、引き続き市民協働によるまちづくり活動と連携した地区交流センター事業における活動を支援します。

施策展開 3. 芸術文化の振興

- 主な取り組み
- 1) 芸術文化に親しむ活動を推進するとともに、市民が主体的に行う芸術文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供に努めます。

施策展開 4. 図書館の充実

- 主な取り組み
- 1) 図書館の設備や機能を充実させ、読書文化の振興や情報交流などの場としての活用を図ります。
 - 2) 読書活動の支援を充実させるとともに、市民の活動の証となる資料収集・保存に努めます。

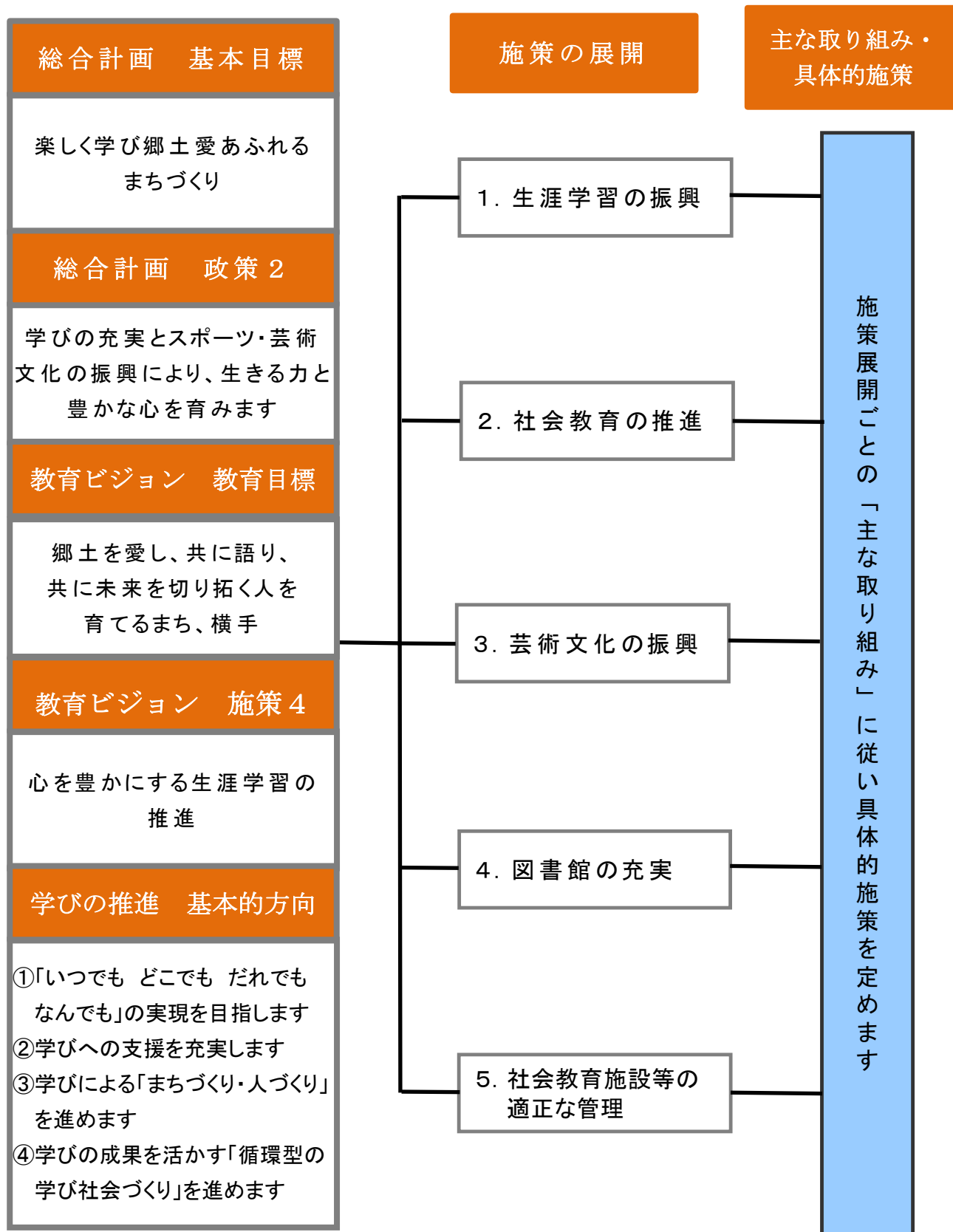
施策展開 5. 社会教育施設等の適正な管理

- 主な取り組み
- 1) 社会教育施設等の予防保全を実施して長寿命化を図るとともに、施設や設備の適正な維持管理を実施し、施設の魅力アップに努めます。
 - 2) 社会教育施設等の計画的な整備と更新を進め、施設の適正な配置に努めます。



4 施策の体系

よこて学びプラン



第4章

施策の展開別課題と具体的施策

第4章 施策の展開別課題と具体的施策

施策の展開 1. 生涯学習の振興

施策の展開	主な取り組み	具体的施策
1 生涯学習の振興	(1) 市民の学習意欲に幅広く応え、より満足度の高い学習機会の提供に努めるとともに、参加しやすい学習環境を整えます。	① 様々な機関と連携し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べる環境を提供します。 ② 学びの情報を発信します。
	(2) 学校・家庭・地域の連携により様々な体験活動や交流事業、家庭教育支援などを実施し、地域で子どもを育てる体制づくりに努めます。	① 体験活動や交流事業を推進します。 ② 家庭教育を支援します。
	(3) 学習の成果を地域活動への参画や社会貢献に活かす環境づくりに努めます。	① 学びのサイクル（循環）を推進します。

現状及び課題

ライフスタイルの多様化に伴い、市民の学習要求も幅広く高度になりつつあり、市民が自らの考えで行動し、人生をより深く生きる機会の提供が望まれています。また、障がいの有無や性別、年齢、人種、国籍に関わらず、すべての人々が自分の能力を活かすことのできる共生社会の実現が求められています。

そのような中、市主催講座や教室の開催において、高齢者の参加率が高いため、そのほかの年代にも「生涯学習」という学びに気軽に参加できる環境を提供し、地域で活躍できる人材育成を目指すことが必要となっています。さらに、学んだ成果を人づくり・地域づくりに結び付け、地域の絆づくりと活力あるコミュニティに繋げていく能力の育成と機会の提供が望まれます。

そのために、本市の資源を活用し、子どもや若い世代にも多くの体験機会を充実させ、様々な交流機会の提供や「学びのサイクル（循環）」を充実させることで、自己表現ができる環境をつくっていく必要があります。また、市内すべての小中学校において、コミュニティ・スクールが導入され、一層学校・家庭・地域が連携・協働し、地域全体で子どもを育てる体制を整えていくことが求められます。

主な取り組み・内容

(1) 市民の学習意欲に幅広く応え、より満足度の高い学習機会の提供に努めるとともに、参加しやすい学習環境を整えます。

多くの市民に「学び」の機会を提供するために、市主催の講座や教室の開催において、市民ニーズを的確に把握し、新しい情報の発信や様々な機関との連携により「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べる環境づくりに努めます。

【具体的施策】

1 様々な機関と連携し、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べる環境を提供します。

国や県、企業やNPO、秋田大学横手分校、公民館など、様々な機関と連携し、多様な学びを提供するほか、ICT（※1）を活用したオンライン講座などの開催により、一層の学習環境の充実を図ります。

また、市民の学習意識や意欲の把握に努め、教室や講座の充実を図るとともに、すべての人が豊かな学習活動を行うことができるよう学習環境の整備に努めます。

2 学びの情報を発信します。

公民館報やまなびのしおりを定期的に発行するほか、より多くの市民に情報が届くよう、広報紙やデジタルサイネージ（※2）、コミュニティFM、ホームページなどを活用した情報の提供に努めます。



夏休み子ども教室（自然体験学習）



冬休み子ども教室（しめ飾りづくり）

※1 「ICT」…情報通信技術のこと。

※2 「デジタルサイネージ」…公共施設などにディスプレイなどの映像表示装置を設置して情報を発信するシステム。市内では地域局や病院のほか、道の駅などの観光施設に設置している。

(2) 学校・家庭・地域の連携により様々な体験活動や交流事業、家庭教育支援などを実施し、地域で子どもを育てる体制づくりに努めます。

「少子高齢化」「核家族化」「両親共働き」などの社会情勢をふまえ、多くの地域住民の協力のもと、本市の多彩な資源を活用しながら、体験活動や交流事業、家庭教育支援などを実施し、地域全体で子どもたちの成長を支援していくことを目指します。

【具体的施策】

1 体験活動や交流事業を推進します。

ふるさとの自然や歴史・文化に触れる体験活動の機会の提供と、「^{がっこうきょういく}楽校郷育」プラン（※1）など異世代の方々との交流や友好都市との交流を推進し、心豊かな人づくりと生きる力を育みます。

また、コミュニティ・スクール（※2）の活動を活性化させるため、地域コーディネーターを中心とした地域学校協働活動（※3）を推進します。

2 家庭教育を支援します。

小学校の就学時健診などに併せて子育て講座を実施し、家庭での教育力の向上と入学前の保護者の不安解消に努めます。また、家庭教育支援チーム（※4）などと連携し、子育てや家庭教育で悩む保護者の相談対応や、親子で参加できる体験講座などを開催します。家庭教育ガイド「えのめんこ」を配布し、家庭における教育のポイントと各種相談窓口の周知を図ります。

※1 「楽校郷育」プラン…令和2年11月に開催した、市内中学生による「Y8サミット創快横手市議会」において横手明峰中学校から提案された、シニア世代と小中学生が休日の校舎を活用し交流を深めながら共に学び合うという、これからの地域社会における生涯学習のプランのこと。

※2 「コミュニティ・スクール」…学校運営に保護者や地域住民の意見を取り入れる仕組みである「学校運営協議会制度」を導入した学校のこと。

※3 「地域学校協働活動」…幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びを支えるとともに、地域と学校が連携・協働して行う活動のこと。

※4 「家庭教育支援チーム」…子育て経験者をはじめとする地域の様々な方々で構成されたチームで、家庭教育に関する学習機会の提供や相談活動を行う。

(3) 学習の成果を地域活動への参画や社会貢献に活かす環境づくりに努めます。

学んだ知識・技能・経験により自らの人生を豊かにするだけに留まらず、学習の成果を地域に還元し社会貢献に活かす「学びのサイクル（循環）」を推進します。

【具体的施策】

1 学びのサイクル（循環）を推進します。

学習の成果を地域における活動の中で披露したり、活用する機会を提供するほか、新たな団体・サークルなどの設立や活動の相談体制を充実させ、支援します。

また、生涯学習奨励員の活動を活性化させ、地域の人材の発掘や生涯学習活動の支援を行い、地域の学びの体制を充実させます。

さらには、公民館事業や地区交流センター事業などと連携し、地域課題に応じた学習の機会を提供し、地域の人々の学びが、地域の課題解決へと繋がるよう努めます。



横浜市家庭教育支援チーム
「どんぐりすのもり」
オンライン講座の様子

学びの指標

学びの指標項目	現 状 値	目 標 値 【令和8年度】
「生涯学習の推進」に対する市民満足度	66.7点 [R2年度調査] 66.2点 [R1年度調査] (まちづくりアンケート結果)	71.5点
生涯学習講座・教室の参加者数	17,928人 [R2年度実績] 34,048人 [R1年度実績]	36,000人
社会教育施設の利用者数 (市民会館含む)	271,558人 [R2年度実績] 447,143人 [R1年度実績]	550,000人
生涯学習施設利用件数(公民館、生涯学習センター)	23,755件 [R2年度実績] 33,234件 [R1年度実績]	34,000件

施策の展開

2. 社会教育の推進

施策の展開	主な取り組み	具体的施策
2 社会教育の推進	(1) 各種社会教育関係団体の活動を支援します。	① 関係機関・施設・団体等との連携づくりを進めます。 ② 団体活動の充実を目指します。 ③ 地域との連携づくりを進めます。
	(2) 公民館等施設について、引き続き市民協働によるまちづくり活動と連携した地区交流センター事業における活動を支援します。	① 公民館等施設を拠点とした地域の活性化を図ります。 ② 人づくりによる、まちづくりを進めます。

現状及び課題

社会の変化や物質的な豊かさにより、価値観やライフスタイルの多様化が進み、学びを取り巻く環境は変わりつつあります。

少子高齢化社会においては、高齢者や障がい者を含むすべての市民が、地域の一員として役割と居場所があり自己肯定感を持って社会参加できる機会の充実が望まれます。また、若い世代に対しては、より質の高い社会教育が受けられるよう教育活動や学習活動に対するニーズに応じていくことも求められています。そのような中においては、各種団体や関係機関と連携・協力して、それぞれの特徴を活かした多様な学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応じていくことが地域共生社会の構築につながると考えられます。

また、地域においては、人々の集う機会が減少しています。特に世代間で交流する機会が少なく、互いに支え合おうとする意識が低下することは、人間関係の希薄化が進む一因と考えられます。

こうした課題を踏まえて、単に個々人の趣味や教養を充足させるだけにとどまらず、地域住民自らが主体となり地域づくりへの参画を促進し、課題解決を図ることが必要です。また、学校、家庭、地域が連携しながら、コミュニティの維持や向上を図り、それぞれの地域が持っている強みを活かし、賑わいの創出や地域活性化に繋がるまちづくりを進めていく必要があります。

主な取り組み・内容

(1) 各種社会教育関係団体の活動を支援します。

各種社会教育関係団体は、まちづくりの担い手としても期待されます。公民館等施設を活用し地域や他団体との連携をより一層推進するとともに、人づくりやまちづくりに資する各種社会教育関係団体の活動を支援します。

【具体的施策】

1 関係機関・施設・団体との連携づくりを進めます。

社会教育関係団体同士の連携のほか、県やNPO・企業などとも連携できるよう情報共有に努めます。国や県などが主催する研修会への参加を積極的に促します。

2 団体活動の充実を目指します。

主催事業や活動への支援を充実させます。また、公民館等施設を活用し活動の場の提供や団体同士の交流機会を充実させます。

3 地域との連携づくりを進めます。

各種社会教育関係団体が持つ知識や人材が、地域の抱える課題解決に役立てられるよう地域との情報交換やネットワークづくりなど環境整備に努めます。



十文字西地区交流センター事業
救急救命講習会



横手市連合婦人会総会

(2) 公民館等施設について、引き続き市民協働によるまちづくり活動と連携した地区交流センター事業における活動を支援します。

将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、地域におけるコミュニティの体系化を図るため、地域住民による自主的な活動を支援するとともに、地域資源を活かした特色ある地域づくりを推進します。

また、若い世代に地域の良さとその価値を認識してもらい、地域づくりへの関わりに実感を持てるような取り組みを進めます。

【具体的施策】

1 公民館等施設を拠点とした地域の活性化を図ります。

地区交流センター事業について、地域の特色を活かした自主的活動を支援し、地域力を最大限に発揮できるよう研修機会の充実を図ります。

また、横手駅東口に令和6年度オープンを予定している新公益施設は、新たな活動の拠点として市民が気軽に来館し、情報収集や交流ができるよう体制を整備します。

2 人づくりによる、まちづくりを進めます。

各地区における学びを支援する体制を見直し充実を図ります。また、地域住民主体の生涯学習と地域づくりの取り組みを促進するため、学びのサイクル（循環）を充実させ、若い世代をまき込みながら地域の人材育成を進め、持続可能な地域づくりに努めます。

学びの指標

学びの指標項目	現 状 値	目 標 値 【令和8年度】
地域を超えた共催事業の開催数	9回 [R2年度実績] 40回 [R1年度実績]	60回
自主運営組織数（運営協議会数）	18団体 [R2年度実績] 17団体 [R1年度実績]	28団体

施策の展開

3. 芸術文化の振興

施策の展開	主な取り組み	具体的施策
3 芸術文化の振興	(1) 芸術文化に親しむ活動を推進するとともに、市民が主体的に行う芸術文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供に努めます。	① 芸術文化活動を支援します。 ② 市民会館の機能・サービスの充実に向け検討します。 ③ 伝統文化の継承と芸術文化資源の活用を図ります。

現状及び課題

芸術文化を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少などの社会的問題や先行き不透明な地方経済に加え、活動拠点となる施設の休館や文化祭等の発表の場の中止、外出機会の制限など、新型の感染症拡大の影響を受けており、しばらくは続くものと考えられます。さらに、芸術文化団体の高齢化により活動意欲が低下し、活動を休止する団体が増えてきており、芸術文化の振興を推進していくことが難しい状況にあります。また、市民の芸術文化に対する要望は後回しになりがちで、地域ごとの芸術文化に対する意識の格差は広がる懸念されます。

生涯学習意識調査によると、依然として「過去1年間で芸術文化活動に関わりがなかった」という回答が約半数にも上ることから、芸術文化団体の活動継続と個人の芸術文化への参加意欲を高める働きかけや支援のほか、日常生活の中で芸術文化に触れる機会を提供していくことが課題です。

現在、芸術文化活動の拠点である横手市民会館（昭和43年竣工、平成5年改築）は竣工から53年が経過し、老朽化や陳腐化が著しく、移転による建て替え整備を目指した検討を重ねています。

また、市民にとって身近な芸術文化資源である地域の伝統芸能については、地域の若者や子どもの数の減少により、将来への継承が難しい状況にあります。このような中、学校での伝統芸能や芸術文化に関する学習、地域での継承の取り組みがますます重要になっており、その一つとして子どもたちが地域の伝統文化や芸術に触れ、豊かな体験を重ねることが、将来の芸術文化振興に繋がるものと期待されます。

主な取り組み・内容

(1) 芸術文化に親しむ活動を推進するとともに、市民が主体的に行う芸術文化活動を支援し、成果発表の機会と場の提供に努めます。

市民が芸術文化に親しむ環境づくりのため、市民による活動発表の場を設け、芸術鑑賞会の開催や芸術文化団体への支援など、芸術文化活動を推進します。

また、地域が大切に守ってきた伝統行事や芸能、作品などの芸術文化資源や人材を活用した学びの機会提供に取り組めます。

【具体的施策】

1 芸術文化活動を支援します。

芸術文化団体の活動を支援するため、国や県などの各種支援制度の紹介や感染症防止対策などを行い、安全で安心して利用・開催できる施設運営に努めます。

また、地域の芸術文化団体や個人と連携し、市民ニーズに基づいた各種講座・地域の文化祭などの発表の機会を設けます。さらにその情報をインターネットなど様々な手段を用いて発信し、個人の学び場の提供や芸術文化団体の活動意欲の向上、若い世代の参加を図ります。

さらに、自主文化事業などによる芸術鑑賞の提供や普段、舞台芸術を鑑賞する機会が少ない方向けの舞台芸術鑑賞の提供を行い、芸術文化の振興につなげます。

2 市民会館の機能・サービスの充実に向け検討します。

新市民会館の整備にあたり、市民主体の芸術文化活動の拠点として、施設設備の充実や利用者サービスの向上を目指すため検討を進めます。

3 伝統文化の継承と芸術文化資源の活用を図ります。

若い世代に興味関心を持たせ、継承する人材の育成を図るため、地域の伝統的な行事・工芸・芸能に精通した人材を活用した主催講座や発表の場を提供します。さらに、インターネットを利用した情報発信や学びの場の提供を推進します。

また、市内外で実績のある方の芸術作品・文芸資料などの展示会を開催し、資源の活用を図ります。併せて「横手市マンガ活用後期基本計画」に基づき、横手市増田まんが美術館が収蔵するマンガ原画資料等の整理・研究を進め、マンガ文化を学ぶことができる随一の美術館としての企画や展示に取り組みます。

学びの指標

学びの指標項目	現 状 値	目 標 値 【令和8年度】
市民会館ホール稼働率	21.7% [R2年度実績] 39.0% [R1年度実績]	45%
マンガを活かした特別授業参加者の満足度	— [R3年度から実施]	90%



八沢木獅子舞



公共ホール音楽活性化事業「おんかつ」

施策の展開

4. 図書館の充実

施策の展開	主な取り組み	具体的施策
4 図書館の 充実	(1) 図書館の設備や機能を充実させ、読書文化の振興や情報交流などの場としての活用を図ります。	① 読書文化の振興を図ります。 ② 情報交流などの場としての活用を図ります。
	(2) 読書活動の支援を充実させるとともに、市民の活動の証となる資料収集・保存に努めます。	① 関係機関と連携し、市民の読書活動を支援します。 ② 地域資料の収集と保存に努めます。

現状及び課題

市民の豊かな教養と文化の向上に資するため、学校や地域社会等と連携・協力し、図書館サービスの展開と、未来に引き継ぐ郷土資料の収集に努めています。

しかし、平成28年度から令和元年度までの市民1人当たりの貸し出し冊数は微増しているものの、有効登録者数は減少傾向となっており、今後はより多様化する図書館ニーズへの対応と効果的な図書館情報の発信を行っていく必要があります。

また、令和元年度からの5カ年計画で策定した「第2次横手市子ども読書活動推進計画」は、乳幼児期から読書習慣を身に付けることにより、読書の楽しさや大切さを学び、生きる力を育むため、総合的かつ計画的に子どもの読書活動をより一層推進しようとする内容となっています。

この計画の進捗により、子どもたちへの支援は行われてきましたが、市民全体への支援を強化していくことも必要です。



図書館員が選んだおすすめの本
100冊「ヨコワン」



おはなし会の様子

主な取り組み・内容

(1) 図書館の設備や機能を充実させ、読書文化の振興や情報交流などの場としての活用を図ります。

市立図書館全体の連携をさらに進めるとともに、利用者のニーズに応じた新たなサービスを検討します。

横手駅東口に令和6年度オープンを予定している新公益施設内に整備する新横手図書館では、従来の図書館機能を充実させながら、蔵書管理にICタグ（※1）の導入を予定しています。自動貸し出しや自動返却ができるようになるなど、利便性の向上を図りながら、図書館業務の効率化も進めます。また、施設全体が市民の情報交流の場としても利用できるように、快適で居心地のよい空間づくりを目指して整備します。

【具体的施策】

1 読書文化の振興を図ります。

図書館資料と関連した様々な教室や読み聞かせボランティアグループと連携したおはなし会を開催するなど、本と人とを結びつける図書館サービスの工夫を図ります。

「横手市子ども読書活動推進計画」を推進し、読書文化の振興を図ります。また、子ども読書活動推進委員による活動の検証に基づき次期計画を策定します。

2 情報交流などの場としての活用を図ります。

読書や学習の場としての利用に加えて、図書館で有する情報を活用して利用者の交流が生まれるような新しい図書館サービスやイベントの実施を検討します。

※1 「ICタグ」…情報を記録するICチップと無線通信用アンテナを組み合わせた小さなタグ（札）のこと。新横手図書館では、図書資料1冊ごと付すもので、図書館スタッフを介せず、本の貸し出し、返却ができるほか位置情報の取得ができるため、膨大な量の蔵書点検が圧倒的に効率化されるという利点がある。

(2) 読書活動の支援を充実させるとともに、市民の活動の証となる資料収集・保存に努めます。

読書機会の提供、読書活動の啓発を行い、関係機関との連携・協働による読書活動の推進体制を強化し、市民の多様な読書活動や学びを応援します。

また、横手を学ぶ上で重要となる地域資料の収集と保存を積極的に進めます。

【具体的施策】

1 関係機関と連携し、市民の読書活動を支援します。

関係機関と連携し、乳幼児期から高齢者まで生涯にわたって読書に親しめるよう、各世代に応じたサービスの展開や図書館情報の発信を行い、読書活動をサポートします。また、イベントの開催などにより、家庭や学校、地域で読書に親しむ機会を提供します。

市民の課題解決につながる図書館資料の充実を図り、レファレンス・サービス（※1）の強化と周知に努めます。

2 地域資料の収集と保存に努めます。

未来へ引き継ぐため、地域資料の収集と保存を進めます。

学びの指標

学びの指標項目	現 状 値	目 標 値 【令和8年度】
市民1人当たりの図書貸し出し冊数	3.04冊 [R2年度実績] 3.75冊 [R1年度実績]	4.0冊
図書館入館者数	151,415人 [R2年度実績] 219,883人 [R1年度実績]	426,000人
人口に占める図書館利用登録者数割合	18.2% [R2年度実績] 18.8% [R1年度実績]	19.4%

※1 「レファレンス・サービス」…図書館利用者の求めに応じ、その調査や相談などに対し図書館資料等を使って援助すること。

施策の展開

5. 社会教育施設等の適正な管理

施策の展開	主な取り組み	具体的施策
5 社会教育施設等の 適正な管理	(1) 社会教育施設等の予防保全を実施して長寿命化を図るとともに、施設や設備の適正な維持管理を実施し、施設の魅力アップに努めます。	① 社会教育施設等の予防保全を図り、中・長期修繕計画に基づき長寿命化を進めます。 ② 施設の利便性を高めます。 ③ 学校施設を有効活用します。
	(2) 社会教育施設等の計画的な整備と更新を進め、施設の適正な配置に努めます。	① 社会教育施設等の計画的な整備を図ります。 ② 社会教育施設等の計画的資産管理を図ります。

現状及び課題

社会教育施設等の運営効率化を図るため、類似施設や老朽化施設等の統廃合を含めた整備が課題となっており、市民にとって利便性が高く充実した施設の提供が求められています。

また、社会教育施設等の整備については、高齢者や障がい者をはじめとした利用者への配慮とともに、防災拠点としての施設の耐震化、老朽化対策など、地域住民の意見を反映することも求められています。さらに、災害時の通信手段として配置した公衆無線LANは、感染症拡大防止のためのオンラインによる講座や、会議の手段として利用されることが増えてきており、今後も通信量の増加が予想されます。

このようなことから、時代に対応した今後の施設の在り方について、将来を見据え、地域協働を進めていく上で必要な施設管理や、利用者の満足度に繋がる事業計画を立てる必要があります。

主な取り組み・内容

(1) 社会教育施設等の予防保全を実施して長寿命化を図るとともに、施設や設備の適正な維持管理を実施し、施設の魅力アップに努めます。

既存の社会教育施設等について、各施設の機能を十分に活かしながら施設間連携を進めるなど、一層の利用の促進と計画的な施設整備を進めます。

また、施設をできる限り長く使うためには、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、施設利用に支障を来さないよう、定期的な点検と計画的な保全措置を実施する予防保全に努めます。

個人の学びの場であると同時に仲間づくりの場である社会教育施設を、さらに地域づくりの拠点機能を持つ施設として位置付け、魅力ある施設となるための検討を進めます。

【具体的施策】

1 社会教育施設等の予防保全を図り、中・長期修繕計画に基づき長寿命化を進めます。

社会教育施設等の予防保全に努めるとともに、耐震化やバリアフリー化などを含め、「横手市財産経営推進計画」に沿って既存施設の長寿命化を図ります。

2 施設の利便性を高めます。

施設の利便性を高めるため、休日や夜間でも施設利用の申し込みができる「横手市公共施設予約システム」、キャッシュレス決済のできる施設の拡充や施設の利用条件や手続き方法の統一や、管理する職員の研修を行うなど、より利用しやすい・親しみやすい施設づくりを進め、施設の稼働率を高めます。

また、ICTを活用した新たな学習機会の創出のため、公衆無線LANの配置や設置箇所について検討します。

3 学校施設を有効活用します。

体育館やグラウンドなどの学校施設を有効活用するとともに、利用する際の受益者負担等を検討します。

(2) 社会教育施設等の計画的な整備と更新を進め、施設の適正な配置に努めます。

社会教育施設等の整備にあたり、地域の特性や課題、学習活動の現状を的確に把握し、それらが施設に反映されることが必要であることから、類似施設機能の集約を進めつつ「拠点」となる施設を定め、計画的に整備と更新を行います。

【具体的施策】

1 社会教育施設等の計画的な整備を図ります。

社会教育施設等の改修や改築などの整備、規模、機能及び配置の見直しについては、「横手市財産経営推進計画」並びに「横手市公共施設個別施設計画」に基づき、検討・実施します。

2 社会教育施設等の計画的資産管理を図ります。

施設台帳や施設カルテ、建物カルテを活用して施設整備などの更新時期を把握し、社会教育施設等の計画的資産管理を図ります。

資料

「生涯学習についての意識調査」結果

1. 調査時期 令和3年11月1日（月）から11月19日（金）
2. 調査対象 ①横手市に居住する13歳以上の男女2,000人
 （10代 260人、他世代290人ごとに地域按分）
 ②横手市HPから回答が出来る方
3. 回答者数 850人 ①751人 【回答率 37.5% ※前回 31.1%（6.4%増）】
 ② 99人

<内訳（年代別）>

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
人数（人）	92	82	119	161	148	137	107	4

4. 結果 以下のとおり

			【前回】	
問5 「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。また、内容を理解していますか。				
1. 聞いたことがあります、内容を理解している	335人	39.4%	37.9%	1.5%↑
2. 聞いたことはあるがよくわからない	428人	50.4%	51.5%	▲1.1%↓
3. 聞いたことがない	81人	9.5%	9.3%	0.2%↑
無回答	5人	0.7%	1.3%	▲0.6%↓

			【前回】	
問6 この1年間にしたことのある生涯学習をすべて選んでください。				
1. 趣味的なもの	266人	16.6%	17.5%	▲0.9%↓
2. 教養的なもの	149人	9.3%	6.0%	3.3%↑
3. 健康・スポーツ	327人	20.4%	18.1%	2.3%↑
4. 家庭生活に役立つ技能	173人	10.8%	7.9%	2.9%↑
5. 育児・教育に関する学習	57人	3.5%	3.9%	▲0.4%↓
6. 職業上必要な知識・技能	165人	10.3%	10.8%	▲0.5%↓
7. パソコン・インターネットを利用した講座	41人	2.5%	2.1%	0.4%↑
8. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	52人	3.2%	1.8%	1.4%↑
9. 体験活動	76人	4.7%	3.3%	1.4%↑
10. このような学習はしていない	281人	17.5%	25.6%	▲8.1%↓
11. その他（陶芸、らくらく体操、書道など）	5人	0.3%	0.6%	▲0.3%↓
無回答	14人	0.9%	2.40%	▲1.5%↓

			【前回】	
問7 生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。すべて選んでください。				
1. 家族・友人・知人から	228人	12.9%	11.5%	1.4%↑
2. 学校・職場・仕事を通じて	264人	14.9%	11.5%	3.4%↑
3. 市報・公民館報・図書館ニュース・市パンフレット・HPなどから	333人	18.8%	21.7%	▲2.9%↓
4. 公民館や体育館・図書館などの窓口や職員から	51人	2.9%	3.0%	▲0.1%↓
5. 講座や研修会、サークル・クラブ・同好会などに参加して	67人	3.8%	3.6%	0.2%↑
6. 自治会、町内会の回覧、地域住民の連絡で	118人	6.7%	8.1%	▲1.4%↓

7. 新聞・雑誌から	147人	8.3%	9.7%	▲1.4ポイント
8. テレビ・ラジオから	131人	7.4%	7.6%	▲0.2ポイント
9. インターネット・メールなどから	227人	12.8%	8.9%	3.9ポイント
10. 特に情報は得ていない	196人	11.1%	12.9%	▲1.8ポイント
11. その他（知人のSNS、自分でなど）	3人	0.2%	0.6%	▲0.4ポイント
無回答	3人	0.2%	0.9%	▲0.7ポイント

問8 どのように生涯学習に関わっていますか。すべて選んでください。

【前回】

1. 民間のカルチャーセンター・スポーツクラブ・塾などで	68人	5.7%	5.2%	0.5ポイント
2. 市が主催する講座や教室で	84人	7.1%	7.9%	▲0.8ポイント
3. 同好者が自主的に行っている集まり・クラブ・サークル活動で	134人	11.3%	10.5%	0.8ポイント
4. 団体活動で	81人	6.8%	5.7%	1.1ポイント
5. 施設を利用して	122人	10.3%	8.4%	1.9ポイント
6. 地域の活動で	118人	9.9%	8.3%	1.6ポイント
7. 放送大学を利用して	5人	0.4%	0.2%	0.2ポイント
8. 民間の通信教育を利用して	20人	1.7%	1.1%	0.6ポイント
9. ラジオ・テレビ・パソコン・インターネットを利用して	183人	15.4%	11.0%	4.4ポイント
10. 特に行ってない	350人	29.5%	38.8%	▲9.3ポイント
11. その他（自分で勉強、学校、職場など）	10人	0.8%	1.0%	▲0.2ポイント
無回答	15人	1.1%	1.9%	▲0.8ポイント

問9 「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように活かしていますか。すべて選んでください。

【前回】

1. 仕事や就職活動で活かしている	198人	12.5%	13.1%	▲0.6ポイント
2. ボランティア活動やNPO活動	39人	2.5%	2.5%	0.0ポイント
3. 資格を取得した（取得するため）	71人	4.5%	3.1%	1.4ポイント
4. 日常生活や地域での活動に活かしている	204人	12.9%	9.9%	3.0ポイント
5. 深い知識・技能をさらに広く、身につけるよう努めている	140人	8.9%	7.4%	1.5ポイント
6. 他の人の指導に活かしている	45人	2.8%	3.0%	▲0.2ポイント
7. 自分の人生がより豊かになっている	271人	17.1%	15.6%	1.5ポイント
8. 自分の健康の維持・増進に役立っている	240人	15.2%	13.6%	1.6ポイント
9. 子育てや教育活動に活かしている	79人	5.0%	3.5%	1.5ポイント
10. 特に活かしていない	259人	16.4%	23.3%	▲6.9ポイント
11. その他（参加していない）	10人	0.6%	0.6%	0.0ポイント
無回答	26人	1.6%	4.4%	▲2.8ポイント

問10 「生涯学習」を行う際に、支障となることをすべて選んでください。

【前回】

1. 仕事や家事、学業が忙しくて時間がない	377人	25.9%	27.5%	▲1.6ポイント
2. 子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	55人	3.8%	3.8%	0.0ポイント

3. 自分の希望に合う内容の講座や教室がない	137人	9.4%	7.3%	2.1ポイント
4. 講座や教室が行われる時期や時間が合わない	165人	11.4%	12.7%	▲1.3ポイント
5. 身近なところに施設や場所がない	118人	8.1%	7.2%	0.9ポイント
6. 必要な情報をなかなか入手できない	105人	7.2%	7.1%	0.1ポイント
7. 一緒に学習や活動をする仲間がいない	99人	6.8%	7.3%	▲0.5ポイント
8. 費用がかかる	143人	9.8%	11.5%	▲1.7ポイント
9. 支障となることは特にない	205人	14.1%	12.0%	2.1ポイント
10. その他（持病がある、闘病中、感染予防など）	10人	1.1%	0.9%	0.2ポイント
無回答	34人	2.4%	2.7%	▲0.3ポイント

問11 この1年間に、次のことをどのくらいしましたか。

		よくした	まあまあした	あまり しなかった	しなかった	無回答
(1) 読書	回答数	109人	214人	325人	194人	8人
	割合	12.8%	25.2%	38.2%	22.8%	1.0%
	(前回)	(10.1%)	(24.2%)	(39.3%)	(24.6%)	(1.8%)
	増減	2.7ポイント	1.0ポイント	▲1.1ポイント	▲1.8ポイント	▲0.8ポイント
(2) スポーツ活動	回答数	129人	176人	270人	266人	9人
	割合	15.2%	20.7%	31.8%	31.3%	1.0%
	(前回)	(5.9%)	(18.5%)	(33.7%)	(40.1%)	(1.8%)
	増減	9.3ポイント	2.2ポイント	▲1.9ポイント	▲8.8ポイント	▲0.8ポイント
(3) 芸術文化活動	回答数	39人	132人	271人	397人	11人
	割合	4.6%	15.6%	31.9%	46.8%	1.1%
	(前回)	(3.2%)	(18.3%)	(30.3%)	(46.6%)	(1.6%)
	増減	1.4ポイント	▲2.7ポイント	1.6ポイント	0.2ポイント	▲0.5ポイント
(4) 文化財についての 学習や見学	回答数	14人	89人	240人	496人	11人
	割合	1.6%	10.5%	28.2%	58.4%	1.3%
	(前回)	(1.4%)	(10.9%)	(29.5%)	(56.4%)	(1.8%)
	増減	0.2ポイント	▲0.4ポイント	▲1.3ポイント	2.0ポイント	▲0.5ポイント
(5) ボランティア活動	回答数	22人	103人	225人	495人	5人
	割合	2.6%	12.1%	26.5%	58.2%	0.6%
	(前回)	(2.4%)	(11.9%)	(24.1%)	(59.8%)	(1.8%)
	増減	0.2ポイント	0.2ポイント	2.4ポイント	▲1.6ポイント	▲1.2ポイント
(6) 自主的な同好会 やサークル・ク ラブなどの活動	回答数	57人	99人	142人	545人	7人
	割合	6.7%	11.6%	16.7%	64.1%	0.9%
	(前回)	(5.4%)	(11.9%)	(14.8%)	(65.5%)	(2.4%)
	増減	1.3ポイント	▲0.3ポイント	1.9ポイント	▲1.4ポイント	▲1.5ポイント
(7) 青少年育成活動	回答数	8人	30人	120人	680人	12人
	割合	1.0%	3.5%	14.1%	80.0%	1.4%
	(前回)	(1.9%)	(3.2%)	(12.5%)	(80.1%)	(2.3%)
	増減	▲0.9ポイント	0.3ポイント	1.6ポイント	▲0.1ポイント	▲0.9ポイント

(8) 地域での活動	回答数	25人	158人	199人	461人	7人
	割合	3.0%	18.6%	23.4%	54.2%	0.8%
	(前回)	(6.3%)	(23.0%)	(24.1%)	(44.6%)	(2.0%)
	増減	▲3.3ポイント	▲4.4ポイント	▲0.7ポイント	9.6ポイント	▲1.2ポイント

問12 この1年間に市の施設を（仕事以外で）利用しましたか。

		よく利用した	ときどき利用した	ほとんど利用しない	無回答
(1) 公民館	回答数	44人	136人	657人	13人
	割合	5.2%	16.0%	77.3%	1.5%
	(前回)	(3.5%)	(15.7%)	(78.6%)	(2.2%)
	増減	1.7ポイント	0.3ポイント	▲1.3ポイント	▲0.7ポイント
(2) 図書館	回答数	62人	180人	597人	11人
	割合	7.3%	21.2%	70.2%	1.3%
	(前回)	(6.1%)	(17.8%)	(73.9%)	(2.2%)
	増減	1.2ポイント	3.4ポイント	▲3.7ポイント	▲0.9ポイント
(3) 交流施設・文化施設（市民会館・かまくら館・Y2ぶらざなど）	回答数	47人	191人	600人	12人
	割合	5.5%	22.5%	70.6%	1.4%
	(前回)	(4.2%)	(27.6%)	(65.6%)	(2.6%)
	増減	1.3ポイント	▲5.1ポイント	5.0ポイント	▲1.2ポイント
(4) 資料館（まんが美術館・文学記念館・伝承館など）	回答数	22人	160人	656人	12人
	割合	2.6%	18.8%	77.2%	1.4%
	(前回)	(1.3%)	(11.7%)	(84.8%)	(2.2%)
	増減	1.3ポイント	7.1ポイント	▲7.6ポイント	▲0.8ポイント
(5) スポーツ施設（体育館・武道館・野球場・プール・テニスコートなど）	回答数	91人	144人	603人	12人
	割合	10.7%	16.9%	71.0%	1.4%
	(前回)	(5.0%)	(14.1%)	(79.3%)	(1.6%)
	増減	5.7ポイント	2.8ポイント	▲8.3ポイント	▲0.2ポイント

問13 市の施設について、何か希望や要望はありますか。当てはまるものを

3つまで選んでください。

				【前回】	
1. 建物や設備を充実してほしい	264人	18.1%	12.5%	5.6ポイント	
2. 夜間の開館時間延長や、休日も開館してほしい	147人	10.1%	15.2%	▲5.1ポイント	
3. 手続きを簡単にしてほしい	203人	13.9%	9.7%	4.2ポイント	
4. 図書・展示資料・運動用具・備品などを充実してほしい	146人	10.0%	9.7%	0.3ポイント	
5. 情報を教えてほしい	145人	9.9%	12.3%	▲2.4ポイント	
6. わからないことなどを相談できる専門的な職員を置いてほしい	62人	4.3%	5.5%	▲1.2ポイント	
7. 一時託児などのサービスを充実してほしい	31人	2.1%	3.2%	▲1.1ポイント	
8. インターネットを活用してほしい	133人	9.1%	6.6%	2.5ポイント	
9. バリアフリーにしてほしい	22人	1.5%	-	-	
10. ほぼ満足であり、特に要望はない	216人	14.8%	13.9%	0.9ポイント	

11. その他（要望はない、ほとんど利用していないなど）	41人	2.8%	3.3%	▲0.5ポイント
無回答	50人	3.4%	8.1%	▲4.7ポイント

問14 この1年間に市が主催する講座・教室・講演会・スポーツ大会・イベントなどに参加したことがありますか。

【前回】

1. 参加した	123人	14.5%	18.0%	▲3.5ポイント
2. 参加したかったが、参加できなかった	67人	7.9%	5.9%	2.0ポイント
3. 参加しなかった	646人	76.0%	74.0%	2.0ポイント
無回答	14人	1.6%	2.1%	▲0.5ポイント

問15 （問14で「1」を選択した方へ）

それらの催しに参加してみたの満足度はどうですか。

【前回】

1. とても満足	38人	30.9%	14.3%	16.6ポイント
2. おおむね満足	81人	65.9%	73.2%	▲7.3ポイント
3. やや不満	3人	2.4%	5.4%	▲3.0ポイント
4. 不満	0人	0.0%	0.9%	▲0.9ポイント
無回答	1人	0.8%	6.2%	▲5.4ポイント

問16 市主催の講座や行事について、何か希望や要望はありますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

【前回】

1. もっと講座や行事の数を増やしてほしい	109人	8.7%	5.1%	3.6ポイント
2. 夜間や休日の講座を増やしてほしい	130人	10.4%	8.1%	2.3ポイント
3. 市民の要望に合った内容の講座をしてほしい	137人	11.0%	5.5%	5.5ポイント
4. 講座などの情報をもっと提供してほしい	182人	14.6%	9.3%	5.3ポイント
5. 専門的な講師を呼んでほしい	63人	5.0%	2.6%	2.4ポイント
6. できるだけ費用がかからないようにしてほしい	165人	13.2%	9.7%	3.5ポイント
7. 一時託児などのサービスを充実してほしい	30人	2.4%	2.1%	0.3ポイント
8. できるだけ自宅から近い場所で開催してほしい	127人	10.2%	4.7%	5.5ポイント
9. ほぼ満足であり、特に要望はない	202人	16.2%	8.6%	7.6ポイント
10. その他（川柳講座、高齢者向けのイメージの払しょくなど）	27人	2.2%	1.1%	1.1ポイント
無回答	76人	6.1%	38.7%	▲32.6ポイント

問17 生涯学習推進のための市の取り組みや支援について、どのようにお考えですか。

		大変よい	まあまあよい	もう少しだ	よくない	無回答
(1) 施設整備や行政サービスの充実	回答数	85人	445人	214人	50人	56人
	割合	10.0%	52.3%	25.2%	5.9%	6.6%
	(前回)	(4.6%)	(51.2%)	(26.2%)	(7.9%)	(10.1%)
	増減	5.4ポイント	1.1ポイント	▲1.0ポイント	▲2.0ポイント	▲3.5ポイント

(2) 学習情報の提供 や相談の充実	回答数	73人	430人	237人	51人	59人
	割合	8.6%	50.6%	27.9%	6.0%	6.9%
	(前回)	(4.3%)	(48.0%)	(31.3%)	(7.4%)	(9.0%)
	増減	4.3ポイント	2.6ポイント	▲3.4ポイント	▲1.4ポイント	▲2.1ポイント
(3) 多様な学習機会の 提供	回答数	65人	400人	256人	58人	71人
	割合	7.6%	47.1%	30.1%	6.8%	8.4%
	(前回)	(4.6%)	(45.6%)	(33.4%)	(6.9%)	(9.5%)
	増減	3.0ポイント	1.5ポイント	▲3.3ポイント	▲0.1ポイント	▲1.1ポイント
(4) 学習の成果を發揮 する場や活躍 の場の提供	回答数	65人	377人	273人	57人	78人
	割合	7.6%	44.4%	32.1%	6.7%	9.2%
	(前回)	(5.3%)	(45.7%)	(30.2%)	(7.1%)	(11.7%)
	増減	2.3ポイント	▲1.3ポイント	1.9ポイント	▲0.4ポイント	▲2.5ポイント
(5) さまざまな交流 の場の提供	回答数	75人	344人	295人	60人	76人
	割合	8.8%	40.5%	34.7%	7.1%	8.9%
	(前回)	(5.0%)	(47.8%)	(28.9%)	(7.2%)	(11.1%)
	増減	3.8ポイント	▲7.3ポイント	5.8ポイント	▲0.1ポイント	▲2.2ポイント
(6) 学習に活用できる 人材育成や環境 整備	回答数	55人	336人	311人	61人	87人
	割合	6.5%	39.5%	36.6%	7.2%	10.2%
	(前回)	(4.4%)	(38.8%)	(36.9%)	(8.2%)	(11.7%)
	増減	2.1ポイント	0.7ポイント	▲0.3ポイント	▲1.0ポイント	▲1.5ポイント
(7) 子ども向けの事業 の充実	回答数	69人	337人	295人	64人	85人
	割合	8.1%	39.7%	34.7%	7.5%	10.0%
	(前回)	(5.7%)	(43.7%)	(30.7%)	(7.5%)	(12.4%)
	増減	2.4ポイント	▲4.0ポイント	4.0ポイント	0.0ポイント	▲2.4ポイント
(8) 芸術文化活動への 支援	回答数	54人	362人	285人	70人	79人
	割合	6.4%	42.6%	33.5%	8.2%	9.3%
	(前回)	(6.0%)	(47.2%)	(27.1%)	(8.8%)	(10.9%)
	増減	0.4ポイント	▲4.6ポイント	6.4ポイント	▲0.6ポイント	▲1.6ポイント
(9) 読書活動への支援	回答数	95人	455人	183人	41人	76人
	割合	11.2%	53.5%	21.5%	4.8%	9.0%
	(前回)	(8.7%)	(50.2%)	(22.5%)	(7.4%)	(11.2%)
	増減	2.5ポイント	3.3ポイント	▲1.0ポイント	▲2.6ポイント	▲2.2ポイント
(10) スポーツ活動への 支援	回答数	80人	386人	234人	73人	77人
	割合	9.4%	45.4%	27.5%	8.6%	9.1%
	(前回)	(6.0%)	(46.4%)	(29.5%)	(7.7%)	(10.4%)
	増減	3.4ポイント	▲1.0ポイント	▲2.0ポイント	0.9ポイント	▲1.3ポイント
(11) 子育てや教育に 関する学習機会の 提供	回答数	74人	380人	248人	56人	92人
	割合	8.7%	44.7%	29.2%	6.6%	10.8%
	(前回)	(4.3%)	(45.6%)	(31.1%)	(6.3%)	(12.7%)
	増減	4.4ポイント	▲0.9ポイント	▲1.9ポイント	0.3ポイント	▲1.9ポイント

(12) まちづくり活動 や地域活動への 支援	回答数	75人	366人	269人	63人	77人
	割合	8.8%	43.1%	31.6%	7.4%	9.1%
	(前回)	(4.8%)	(44.5%)	(31.9%)	(8.0%)	(10.8%)
	増減	4.0 _{ポイント}	▲1.4 _{ポイント}	▲0.3 _{ポイント}	▲0.6 _{ポイント}	▲1.7 _{ポイント}
(13) 障がい者への生 涯学習活動支援	回答数	56人	343人	298人	69人	84人
	割合	6.6%	40.3%	35.1%	8.1%	9.9%
	(前回なし)	-	-	-	-	-

問18 今後、市民の生涯学習活動をもっと盛んにしていくために市ではどのようなこと
に力を入れるべきだと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

					【前回】
1. 施設・設備を充実する	345人	16.1%	12.6%	3.5 _{ポイント}	
2. 施設のサービスを充実する	250人	11.6%	11.7%	▲0.1 _{ポイント}	
3. 専門職員を育成する	147人	6.8%	6.9%	▲0.1 _{ポイント}	
4. 施設どうしの協力や連携を進める	133人	6.2%	8.0%	▲1.8 _{ポイント}	
5. 市民の要望に合った魅力的な講座や行事を増やす	330人	15.4%	14.1%	1.3 _{ポイント}	
6. 情報の提供を充実する	276人	12.9%	14.7%	▲1.8 _{ポイント}	
7. 市民の要望や満足度などを定期的につかみ、応えていく	178人	8.3%	9.6%	▲1.3 _{ポイント}	
8. 身につけた成果を発揮する場や交流活動の場を増やす	100人	4.7%	5.0%	▲0.3 _{ポイント}	
9. 社会教育各団体やボランティア団体などの活動を支援する	44人	2.1%	1.8%	0.3 _{ポイント}	
10. NPO（民間非営利組織）団体や企業など、民間との協力を進める	65人	3.0%	3.1%	▲0.1 _{ポイント}	
11. 子どもから高齢者まで、あらゆる世代を対象とした講座など	209人	9.7%	8.6%	1.1 _{ポイント}	
12. その他（市民の自主活動、職場での開催など）	19人	0.9%	1.1%	▲0.2 _{ポイント}	
無回答	50人	2.3%	2.8%	▲0.5 _{ポイント}	

問19 今後してみたいと思う学習をすべて選んでください。

					【前回】
1. 趣味的なもの	404人	18.0%	19.7%	▲1.7 _{ポイント}	
2. 教養的なもの	197人	8.8%	10.0%	▲1.2 _{ポイント}	
3. 健康・スポーツ	431人	19.1%	20.8%	▲1.7 _{ポイント}	
4. 家庭生活に役立つ技能	291人	12.9%	11.6%	1.3 _{ポイント}	
5. 育児・教育に関する学習	120人	5.3%	4.0%	1.3 _{ポイント}	
6. 職業上必要な知識・技能	176人	7.8%	7.8%	0.0 _{ポイント}	
7. パソコン・インターネットを利用した講座など	169人	7.5%	7.0%	0.5 _{ポイント}	
8. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	109人	4.8%	5.8%	▲1.0 _{ポイント}	
9. 体験活動	151人	6.7%	5.4%	1.3 _{ポイント}	
10. パソコン、タブレット端末やスマートフォンの使い方に関する学習	145人	6.4%	-	-	
11. その他（研究発表の傍聴、学生スポーツの観戦など）	5人	0.2%	0.1%	0.1 _{ポイント}	
無回答	53人	2.4%	7.8%	▲5.4 _{ポイント}	

主な生涯学習施設等一覧

施設名	地域
[公民館]	
横手中央公民館	横手
旭公民館	横手
境町公民館	横手
金沢公民館	横手
亀田公民館	増田
狙半内公民館	増田
吉田公民館	平鹿
沼館公民館	雄物川
福地公民館	雄物川
館合公民館	雄物川
八沢木公民館	大森
川西公民館	大森
三重公民館	十文字
山内公民館	山内

[公民館分館]

浅舞公民館蛭野分館	平鹿
里見公民館雄南のびる館	雄物川
山内公民館吉谷地分館	山内
山内公民館南郷分館	山内

[図書館]

横手図書館	横手
平鹿図書館	平鹿
大森図書館	大森
山内公民館図書室	山内

[資料館等]

石坂洋次郎文学記念館	横手
横手市増田まんが美術館	増田
ほろわの里資料館	大森

[文化施設等]

横手市交流センターY ² ぷらざ	横手
かまくら館	横手
女性センター（横手中央公民館）	横手
農山村体験学習交流施設「釣りキチ三平の里体験学習館」（狙半内公民館）	増田
吉田地区生涯学習センター	平鹿
雄物川共同福祉施設「アスパル」（沼館公民館）	雄物川
福地コミュニティセンター（福地公民館）	雄物川

施設名	地域
朝倉公民館	横手
栄公民館	横手
黒川公民館	横手
増田公民館	増田
西成瀬公民館	増田
浅舞公民館	平鹿
醍醐公民館	平鹿
里見公民館	雄物川
大沢公民館	雄物川
大森公民館	大森
前田公民館	大森
十文字公民館	十文字
十文字西公民館	十文字
大雄公民館	大雄

浅舞公民館樽見内分館	平鹿
館合公民館つきの木館	雄物川
山内公民館筏分館	山内
山内公民館三又分館	山内

増田図書館	増田
雄物川図書館	雄物川
十文字図書館	十文字
大雄公民館図書室	大雄

後三年合戦金沢資料館	横手
雄物川郷土資料館	雄物川

横手市民会館	横手
サンサン横手	横手
高齢者センター	横手
農村体験学習施設「アイリスハウス」	平鹿
雄物川コミュニティセンター	雄物川
大森コミュニティセンター（大森公民館）	大森
十文字コミュニティセンター（十文字公民館）	十文字

施設名	地域
[体育館]	
横手体育館	横手
平鹿体育館	平鹿
雄物川体育館	雄物川
白山体育館	大森
山内体育館	山内

[屋内運動広場]	
浅舞スポーツセンター	平鹿

[野球場]	
赤坂総合公園野球場 (グリーンスタジアムよこて)	横手
十五野公園野球場	平鹿
横手市中島グラウンド	雄物川
十文字野球場	十文字
山内野球場	山内

[テニスコート]	
大鳥公園テニスコート	横手
十文字テニスコート	十文字

[陸上競技場]	
十文字陸上競技場	十文字

[グラウンド・ゴルフ、ゲートボール場]	
赤坂総合公園 (グラウンド・ゴルフ場)	横手
大雄運動公園 (ゲートボール場)	大雄

[屋外運動広場]	
赤坂総合公園 (運動広場)	横手
横手公園 (運動広場)	横手
増田ニュースポーツ広場	増田
大森多目的広場	大森
大雄運動公園 (子ども広場)	大雄

[スキー場]	
天下森スキー場	増田

施設名	地域
増田体育館	増田
平鹿農業者トレーニングセンター	平鹿
大森体育館	大森
十文字B & G海洋センター	十文字
大雄農業者トレーニングセンター	大雄

[武道館]	
横手武道館	横手

増田野球場	増田
沼館野球場	雄物川
大森野球場	大森
大雄運動公園 (スタジアム大雄)	大雄

大森テニスコート	大森
山内テニスコート	山内

山内陸上競技場	山内
---------	----

大森グラウンド・ゴルフ場	大森
--------------	----

大鳥公園 (運動広場)	横手
記念公園運動広場	横手
吉田多目的運動広場	平鹿
大森前田運動場	大森

[相撲場]	
平鹿相撲場	平鹿

第4次横手市生涯学習推進計画策定委員名簿

佐藤友治	社会教育委員	小原美子	社会教育委員
高橋淳一	社会教育委員	石川冴子	社会教育委員
宮澤壽晴	社会教育委員	谷口純子	社会教育委員
佐藤憲雄	社会教育委員	矢野絹子	社会教育委員
菊地一男	社会教育委員	須藤英見	社会教育委員
高橋純一	社会教育委員	遠藤敏子	社会教育委員
藤田茂	社会教育委員	高橋恵美	社会教育委員
鎌田芳彰	社会教育委員	江村亮子	社会教育委員
島田誠	社会教育委員	笹山洋希	社会教育委員
永沢敏昭	社会教育委員	黒澤正尚	社会教育委員
松田利枝子	社会教育委員	照井幸誠	南教育事務所主任社会教育主事
狩野健一	生涯学習奨励員	佐藤秀人	横手市芸術文化協会事務局
嶋田陽子	横手市連合婦人会会長	園部勇人	横手市PTA連合会会長
照井孝志	財産経営課課長代理	佐々木恵	社会福祉課副主幹
山田恵美子	子育て支援課課長代理	阿部淳子	高齢ふれあい課課長代理
加藤祐子	健康推進課保健師副主幹	遠藤督士	地域づくり支援課副主幹
柴田敏範	文化振興課係長	阿部拓哉	横手生涯学習センター副主幹
齋藤弘	増田生涯学習センター副主幹	渡部英人	平鹿生涯学習センター主査
藤原一美	雄物川生涯学習センター副主幹	遠藤康彦	大森生涯学習センター副主幹
小川真貴子	十文字生涯学習センター主査	橋本一人	山内生涯学習センター主査
世坂和彦	大雄生涯学習センター副主幹	樽川朝美	教育総務課上席副主幹
大澤覚	スポーツ振興課係長	赤川美和子	教育指導課課長代理

(事務局)

横井朗	生涯学習課課長	高田寛久	生涯学習課課長代理
本間亜紀子	生涯学習課主査	斎藤雄平	生涯学習課主査
小松正衛	生涯学習課副主査	西田勝則	生涯学習課主席業務員
藤原慶喜	生涯学習課専門員	佐々木英樹	図書館課課長代理
伊藤麻衣子	図書館課主査		



横手市教育委員会 教育総務部 生涯学習課

〒013-0045 秋田県横手市南町13番1号
(横手市民会館内)

TEL 0182-35-2254 FAX 0182-32-7871

URL <https://www.city.yokote.lg.jp/>

Eメール shogaigakushu@city.yokote.lg.jp



第4次横手市生涯学習推進計画
【概要版】はこちらから→